

# えりもしゃくなげ



教育委員会だより 発行者 教育長 川上松美

## 《未来えりも学》

夏休み、町内先生方に使命感と熱意  
そして、社会教育と学習サポートを  
リレー。 感謝 ～児童のために～

○今年も、学校では先生方の熱意で、夏休み中に3日間の学習サポートを実施、引き続いて、社会教育で大学生や高校生の応援を得てスキルアップスクールを開催しました。

○学校と社会教育が連携したえりもの子の「つまずき」克服の取組に、5日間、児童は一生懸命に取り組みました。

## がんばる えりもの子



えり高生に教えてもらう児童

**えり小**では、7月25日から27日まで、1年から6年まで参加し、先生やえりも高校のお兄さん、お姉さんに熱心に教えてもらいました。延べ206名が参加しました。一人一人真剣に学習していたのがとても印象的でした。

**庶野小**では、今年は教室一杯にこれまで以上に多くの児童と中学生が参加しました。一人ひとりが学習に真剣に取り組んでいたのがとても印象的でした。



**東洋小**では、担任の先生のもとで学年ごとに学習に取り組んでいました。一人ひとりが普段の学習時間と同じように、しっかりと立腰など学習の約束事を守って学習



に取り組んでいた姿が印象的でした。

**えりも岬小**では、学習室に全校児童が集まり、互いに教え合ったり、先生に聞いたりしながら真剣に取り組んでいたのがとても印象的でした。



**笛舞小**では、学年ごとに分かれて1学期の復習に取り組んでいました。自分の弱点のプリントや夏休みの宿題を解き、分からないところなどを先生に聞いていた姿が印象的でした。



## 未来えりも学～学校からリレー スキルアップスクール



○未来えりも学（知育）として、各学校で夏休み学習サポートを実施していますが、引き続き、夏休みの学習を支援しようと、教育委員会社会教育係が企画して、スキルアップスクールを行いました。この事業は、町教委が日高教育局からも「こども・地域サポート」事業として後援いただき実施しました。

○えりも小、庶野小の児童21人が参加し、国語と算数でえりもの子どもたちが落ち込んでいる分野の学習をしたり、漢字や算数博士コンクールに挑戦しました。北翔大学生2名と地元の中村君（北海学園大）、えりも高校生の中村優花さんの4人がボランティアとして委員会の職員と一緒に教えてくれました。

○子供たちの自主的な参加、頑張りに嬉しく思いました。

## 未来えりも学（徳育） 【百人浜に学ぶ】先人の苦勞、漁業の繁栄に学ぶ

### 中学生がカミネッコン製作



### 植樹を終えて学んだこと

○豊かな郷土愛などを育む、えりもならではの「未来えりも学」として、中学校では、事前学習会を行うとともに、カミネッコンを製作してえりも岬地区に植樹を行いました。

○6月12日には、「百人浜に学ぶ講演会」が行われ、1・2年生が百人浜の緑化事業の歴史を森林管理署の瓜田技術員の講話から学びました。

○6月19日には、林業総合センターでカミネッコンづくりを行い、そのあと、植樹をしました。

#### 生徒の感想文です

#### 1年 大山繁扶喜

##### 「百人浜に学ぶ」講演を聞いて

ぼくは、昔、えりもは砂漠だと分かった。えりもの砂漠を助けたのは、よしずなどじゃなく、

ゴダだと分かった。

飯田つねおさんは、できるか分からないのに中心となってやっていて、すごい勇気があって一生懸命な人だと思った。

ゴダには、いろいろな使い方や栄養があると分かった。昔の人は何十年も時間をかけ、森林を作っていて大変だと思った。

#### 「百人浜植樹」を終えて

ぼくは、百人浜植樹を終えて思ったのは、森林を大事にするために、ゴミなどをできるだけリサイクルをして、森林を守ろうと思いました。

改めて、昔の人の努力があるから、砂漠から森林になったのがすごいと思った。だから、昔の人の努力を無駄にしないで大切にしようと思った。

#### 2年 富沢柚香

##### 「百人浜に学ぶ」講演を聞いて

私が今回の講演で感じたことは、えりも砂漠から緑の森に変わったのは、町民一人ひとりの協力があったということです。社会の授業で、プロジェクトXのビデオの中のものも詳しくビデオになっていて、どんな方法で風から木を守っていたのかなど、改めて詳しく知ることができました。来週の植樹もがんばりたいです。

#### 「百人浜植樹」を終えて

最初にカミネッコンを作りました。バスで移動して、植樹をする所は緑色でした。ここが砂漠だったと思うと、すごくびっくりでした。森のいい匂いして、とても落ち着く場所でした。

自分も何か、森林にかかわることをやってみたいと思いました。